

人と人との深いつながり

なぎさ小学校 五年三組 木下 まりか

一九九五年、一月十七日 阪神淡路大震災

がありました。

家がたおれて高速道路もたおれてビルもこわれて
いている写真を見て今、私が元気に生きてい
るとゆうことはとてもすばらしい事な
んだなあ。と思いました。だって私のおばあ
ちゃんやお母さんが生きていないと私は、木
下まりかとして生きていなかっただからです。

そうゆう事を考えると私はもっともっと生き
ている事に感謝しないとなあと思いました。

ひなん所は学校です。いつも通るろうかに
も人がおっていたそうです。私は、1月の寒い
ころだから「こたっ」や「電気カーペット」
「電気もうふ」で温まっているのにあんなに
冷たいろうかにねるなんてとてもつらかった
と思います。

もし、自分の家族、友だち、親せき、知人
を地震で失ったら言葉でいえないほど悲しん

でいてみんないそがしいから「つらい」さみ
しい」と言える人もいないと思う。それに、
あの人大丈夫かなあ。とゆう不安もたくさん
あったと思う。

そんな中はげましてくれてたのが「ボランテ
ィア」どんなにつらくても笑顔でやさしくは
げましてくれてたらしい。きっと私なら見知ら
ぬ人でも来てくれたらとってももうれ
しい。

こんな時に感じるのは、人と人のつながり
りです。相手のことを思いやることが大事な
んだなあと思いました。

困っている時に助け合える友だちや家族
に感謝して毎日を大切にしたいなあと思いま
した。